



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 ユニデンホールディングス株式会社
 コード番号 6815 URL <http://www.uniden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 石井 邦尚

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 大澤 英治

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5543-2812

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,092	△4.4	543	—	555	—	482	—
28年3月期第2四半期	6,372	△22.6	△603	—	△503	—	△630	—

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 327百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △896百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	8.19	—
28年3月期第2四半期	△10.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	34,582	26,737	77.3
28年3月期	33,211	26,410	79.5

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 26,737百万円 28年3月期 26,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末の配当金につきましては、現時点では未定であります。
 未定としておりました第2四半期末配当につきましては、例年通りございません。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,240	9.7	1,530	—	1,520	—	1,030	—	17.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	63,139,649 株	28年3月期	63,139,649 株
29年3月期2Q	4,302,872 株	28年3月期	4,299,350 株
29年3月期2Q	58,838,522 株	28年3月期2Q	58,850,782 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、採算性を重視する経営方針の元、エレクトロニクス事業において、生産コストおよび販管費の見直しを継続的に行いました。また、不動産事業も安定した収益を確保しており、当社グループ全体では、前年同期と比較して売上高が減収となったものの、大幅な増益となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高6,092百万円(前年同四半期比4.4%減)、営業利益543百万円(前年同四半期は603百万円の損失)、経常利益555百万円(前年同四半期は503百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益482百万円(前年同四半期は630百万円の損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

《エレクトロニクス事業》

当事業では、主に、無線通信・応用機器、デジタル家電機器、電話関連機器の製造販売を行ってまいりました。当事業の売上高は5,692百万円(前年同四半期比8.7%減)となりました。製品区分別の内訳は主に次のとおりであります。

[無線通信・応用機器]

当区分では、北米市場、欧州市場におけるGMRSトランシーバー及び、欧州市場におけるCB無線機器並びに、オセアニア市場におけるUCB無線機器の販売数量が好調に推移したものの、米ドル及び豪ドル安の影響を受けたことにより、当区分全体では売上台数51万台(前年同四半期比15.0%増)、売上高3,492百万円(同7.2%減)となりました。

[デジタル家電機器]

当区分では、主に車載用モニター及び車載用チューナーの販売状況が安定して推移しております。また、海外向けETCの受注が貢献し、大幅な増収となりました。この結果、当区分全体では、売上台数3.4万台(前年同四半期比96.0%増)、売上高562百万円(同99.6%増)となりました。

[電話関連機器]

当区分では、北米市場においてビジネスフォンの販売数量は好調に推移しておりますが、コード付き電話における販売戦略の変更により販売数量は減少しております。またオセアニア市場での主力製品である、コードレス電話は高い市場シェアを維持しているものの、市場規模の緩やかな縮小により販売数量が減少しました。当区分全体では売上台数31万台(前年同四半期比17.5%減)、売上高は1,241百万円(同23.7%減)となりました。

《不動産事業》

当事業では、所有不動産の増加に伴い賃貸収入が大幅に増加いたしました。賃貸による収益は299百万円(前年同四半期比321.1%増)となり、当事業全体では、売上高399百万円(前年同四半期比281.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は17,675百万円(前期末比1,906百万円増)となりました。これは、主として販売用不動産が1,790百万円、現金及び預金が625百万円、原材料及び貯蔵品が73百万円、繰延税金資産が50百万円、それぞれ増加し、商品及び製品が483百万円、仕掛品が60百万円、受取手形及び売掛金が35百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は16,903百万円(同535百万円減)となりました。これは、投資その他の資産が377百万円、有形固定資産が133百万円、無形固定資産が24百万円、それぞれ減少したことによるものです。

この結果、資産合計は34,582百万円(同1,371百万円増)となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は4,061百万円(前期末比558百万円減)となりました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金が73百万円、未払法人税等が63百万円、それぞれ増加し、短期借入金が407百万円、未払費用が156百万円、製品保証引当金が14百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は3,783百万円(同1,602百万円増)となりました。これは主として長期借入金が1,475百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は7,844百万円(同1,043百万円増)となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は26,737百万円(前期末比327百万円増)となりました。これは、主として利益剰余金が483百万円増加し、為替換算調整勘定が155百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月16日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に 関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、 平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更し ております。 なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,607	7,232
受取手形及び売掛金	2,853	2,818
商品及び製品	1,775	1,292
販売用不動産	2,940	4,730
仕掛品	311	251
原材料及び貯蔵品	689	762
繰延税金資産	78	128
その他	549	467
貸倒引当金	△37	△8
流動資産合計	15,769	17,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,442	2,313
機械装置及び運搬具(純額)	159	138
工具、器具及び備品(純額)	293	277
土地	12,743	12,743
建設仮勘定	12	45
有形固定資産合計	15,651	15,518
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	707	609
その他	918	640
貸倒引当金	△123	△123
投資その他の資産合計	1,503	1,126
固定資産合計	17,438	16,903
繰延資産		
株式交付費	3	3
繰延資産合計	3	3
資産合計	33,211	34,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	969	963
短期借入金	903	496
1年内返済予定の長期借入金	89	162
未払費用	1,427	1,271
未払法人税等	556	619
賞与引当金	87	86
役員賞与引当金	12	16
製品保証引当金	42	28
その他	529	415
流動負債合計	4,619	4,061
固定負債		
長期借入金	1,899	3,374
その他	282	408
固定負債合計	2,181	3,783
負債合計	6,801	7,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,000	18,000
資本剰余金	29,217	29,217
利益剰余金	△3,187	△2,704
自己株式	△7,330	△7,330
株主資本合計	36,699	37,181
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△10,289	△10,444
その他の包括利益累計額合計	△10,289	△10,444
純資産合計	26,410	26,737
負債純資産合計	33,211	34,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,372	6,092
売上原価	4,825	3,881
売上総利益	1,547	2,211
販売費及び一般管理費	2,150	1,668
営業利益又は営業損失(△)	△603	543
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	1	1
為替差益	28	49
デリバティブ評価益	38	-
持分法による投資利益	24	-
作業くず売却益	2	0
その他	12	3
営業外収益合計	110	56
営業外費用		
支払利息	5	7
デリバティブ評価損	-	30
寄付金	1	1
持分法による投資損失	-	2
その他	2	2
営業外費用合計	10	44
経常利益又は経常損失(△)	△503	555
特別利益		
固定資産売却益	5	20
和解による債務免除益	-	29
事業譲渡益	22	-
特別利益合計	28	49
特別損失		
特別退職金	11	-
特別損失合計	11	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△486	605
法人税、住民税及び事業税	89	161
法人税等調整額	47	△38
法人税等合計	137	122
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△623	482
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△630	482

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△623	482
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△233	△58
持分法適用会社に対する持分相当額	△39	△96
その他の包括利益合計	△273	△155
四半期包括利益	△896	327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△903	327
非支配株主に係る四半期包括利益	7	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△486	605
減価償却費	329	154
デリバティブ評価損益(△は益)	△38	30
固定資産除売却損益(△は益)	△5	△20
事業譲渡損益(△は益)	△22	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	△25
受取利息及び受取配当金	△3	△4
支払利息	5	7
為替差損益(△は益)	3	396
持分法による投資損益(△は益)	△24	2
売上債権の増減額(△は増加)	245	△221
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,632	△1,635
仕入債務の増減額(△は減少)	320	95
その他	△716	272
小計	△2,037	△340
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△5	△6
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△292	△57
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,331	△399
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△6
有形固定資産の取得による支出	△84	△111
有形固定資産の売却による収入	39	-
無形固定資産の取得による支出	△10	-
投資その他の資産の売却による収入	-	20
事業譲渡による収入	22	-
長期貸付けによる支出	-	△2
その他	△4	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37	△111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350	-
短期借入金の返済による支出	-	△350
長期借入れによる収入	330	1,650
長期借入金の返済による支出	△0	△101
非支配株主からの払込みによる収入	504	-
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△294	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	887	1,198
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	△68
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,510	619
現金及び現金同等物の期首残高	7,286	6,506
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,776	7,125

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	エレクトロ ニクス事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,235	104	6,340	31	6,372	—	6,372
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,235	104	6,340	31	6,372	—	6,372
セグメント利益又は 損失(△)	△630	34	△596	△7	△603	—	△603

(注) 1 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(注) 2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーシャルゲームの提供及び、LNS(家庭教師の斡旋)事業等を含んでおります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	エレクトロ ニクス事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,692	399	6,092	—	6,092	—	6,092
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,692	399	6,092	—	6,092	—	6,092
セグメント利益	332	211	543	—	543	—	543

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。